

### 13. 原民喜の疎開先

昭和20年(1945年)、詩人原民喜が織町で被爆し、のちに田尾寿一氏の離れに疎開しました。

現在、離れは取り壊され、庭として茶室風の待合室があります。

この疎開中に書いた作品として「夏の花」や「廃墟から」、疎開生活を点描した「小さな村」などがあります。

### 14. 八幡川酒造

大正13年(1924年)に、保井田にあった児玉、中地にあった池田の醸造場が合併し、昭和26年(1951年)に現在の「八幡川酒造株式会社」となりました。



### 15. 公聚館(こうしゅうかん)跡

明治45年(1912年)頃建築され、昭和15年(1940年)頃に閉鎖されました。

地元役者や旅芸人の芝居興業など、当時の地域における娯楽の一つとされてきました。

(現渡辺ビル)



### 16. 八幡村役場跡

明治22年(1889年)に市町村制が施行され、6ヶ村が合併し八幡村が誕生しました。

現八幡公民館は、大正時代の八幡村役場の跡地に建てられています。

大正15年(1926年)に、当時の皇太子(昭和天皇)が広島に行啓された際に桜の苗を植えたと言われています。

その後、桜は枯れ現在ある桜は、昭和22~23年(1947~1948年)頃に植えたものです。

### 17. みちびき地蔵

昭和37年(1962年)10月20日、沼田往来の安全を願って釜売氏が建立したものです。



### 18. 正楽寺(保井田薬師堂)

平安時代初期に弘法大師が訪ね、今の薬師が丘一丁目に寺堂を建立しました。

明治12年(1879年)に現在の場所に移転しました。

本尊は行基により極楽寺山の杉の根で彫られた薬師像で、毎年2月11日には薬師縁日が開かれています。



### 19. 池田城跡

楠木正成の孫ともいわれている城主の池田教生により、14世紀中期から後期にかけ、保井田地区と五日市地区との境にある城山に築城されました。

京都と九州を結ぶ山陽道の交通の要衝であり、厳島神社の神領域を守る軍事上の目的も果たしました。

城山の北麓にごえん谷があり、ここに毛利元就の命により楠木一族を祀るために建立した五葉院がありました。これは現在の光禅寺の前身でもありません。



### 20. 田中寺(でんちゅうじ)

極楽寺山山頂の杉より彫られた阿彌陀尊像が安置されていますが、元文3年(1738年)に改宗し、浄土真宗西本願寺派に属しました。



### 21. 上り立て地蔵

百田地区の火葬場にあった六地蔵の1体で、心の迷いを正しい方向に導いてくれると云われています。



### 22. 胡粉(ごふん)工場跡

旧中須賀村に、文化11年(1814年)から昭和10年(1935年)頃まで胡粉工場があり、内海の力キ殻を水車の石臼で搗き碎いていました。